

2023年度総合型選抜 社会課題発見レポート 作成にあたって

1. あなたが最近興味を持っている「社会の抱える課題」は何ですか？
特に関心のあるテーマを一つ挙げ、内容を具体的に教えてください。

【作成例】 私の出身地では最近少子化が目立つようになり、数年前には近所の幼稚園が閉園しました。町内には高齢者が多く生活していることもあり、数年後には老人ホームに建て直されると噂されています。このまま人口が減るとどうなるのか、不安に思います。

★自分の身近なところに目を向けて課題を発見しようとする姿勢に、とても好感が持てます。「社会の課題」をあまり難しく考えすぎず、自分の日々の生活を素直に振り返りつつ、課題を見つけてください。

2. 上記のテーマについて、みなさんの周囲や世間にはどんな意見がありますか？ 周囲の人にたずねて、また、新聞・テレビ・インターネットなどを調べてわかったことを挙げてください。できれば複数の立場からの意見を探してみましょう。

【作成例】 閉園した幼稚園に通っていた友人は、当時から園児の数が少なかったので仕方がないと思っていると言います。また、町内会長の方は、お祭りなどの行事のときに手伝いをお願いできる若い世代の方が少ないのはとても困るとおっしゃっていました。一方で小学校時代の先生からは、人が少ないと互いのことを深く知る機会が増えるので、マイナス面ばかりではないとアドバイスされました。

★様々な立場の方に話を聞くことで、ふだん自分が意識しない発見やアイデアを得ることができます。人口減少にはデメリットだけではなくメリットもあるという発想にも触れることができました。行事の際の人手に困るという具体的指摘や、人口数のみならず「団結力」が大切であるという指摘は貴重な発見です。

3. 作業2であなたの調べた意見を自分なりに整理してまとめてみましょう。
整理の結果、わかったことを教えてください。

【作成例】 地域社会から子どもや若い世代の方が少なくなると、地域の様々な活動に不便をもたらすことがわかりました。これらの世代にもっと地域に関わってもらえれば、高齢者の方の負担を減らせる一方で、地域の魅力を発信することにもつながるので、彼らに積極的に企画運営に携わってもらうためには、地域の中で様々な人と関わる機会をうまく用意することが大切であると考えます。

★調査の結果から課題解決に向けた方向性やヒントをうまく引き出しています。単に人口減少を食い止めるというだけでなく、人びとの関係の機会を増やして地域の活動を活発にしていくというアイデアは、より良い社会を考えるにあたっても重要です。

4. これらの困った現実をなるべく改善できるよう、大学入学後、どんなことに取り組んでみたいと思いますか？ これまでの作業を振り返りつつ教えてください。

【作成例】 自分がまだ行ったことのない街の地域活動に参加しつつ、その地の伝統文化や行事、イベントの企画の仕方を学び、そこで身につけた知識を持ち帰って自分の住む地域を活性化させるための材料にしたいと思います。また、子どもから高齢者まで世代を超えて触れ合える環境づくりを実現するための方法について、大学で学びを深めたいと考えています。

★伝統文化／イベント／世代間交流等々、地域住民同士を結びつける方法は数多くあります。それに沿って様々な学問分野や研究があります。自分の問題関心にどんな学びや方法論があるのか、具体的に言葉にできるよう頑張りましょう。